

目次

- ・あなたの「志」は？ p1
- ・2015年度ホームカミングデーと57ネット総会 p1
- ・谷中～上野街歩きイベント p1
- ・江戸落語を楽しむ会 p2
- ・イザ研 p2
- ・シバ研 p2
- ・編集後記 p2



2015年度 ホームカミングデーと57 ネット総会

あなたの「志」は？

昭和57年卒業の同期の皆さま、この度会報第2号をお届けさせていただきます。

さて、2015年のNHK大河ドラマですが、今回の舞台が幕末・長州であること、また、たまたま私が幼少期過ごした地(下関)であることより、吉田松陰が問いかけるこの言葉が印象に残っています。

57ネット支部の志は、13年前3名の同期により、「横のネットワークによりしなやかにユニークな活動を展開し、母校に少しでも貢献することが意義深い事」をスローガンとし旗揚げしたことです。

私も第3代会長としてこの志を少しでも実現すべく、役員・運営委員一体となり支部運営を志し、ここに1年間の活動を表裏1枚のペーパーにまとめ、会員の皆様にお届けいたします。

また、記事には出来ませんが、関西独自の活動拠点を作るべく「関西分会設立」の動きが大阪にて始まりました。

同期の皆さん全員がおおむね56歳～57歳の説目を迎えている我が年代、「あなたの志は何ですか」を自問し、実現に向けて「今更？」と言わず歯を食いしばっていてもいい年頃ではないかと思っています。

今後とも57ネット支部活動にご支援頂きますよう、お願い申し上げます。(会長 浜田 英明)



10月25日(日)、雲一つない快晴の空のもと、卒業生の祭典、第24回ホームカミングデーが開催されました。10時からクレセントホールで行われた式典には、57ネットからも10数名が参加。クライマックスの「中央の絆」では浜田会長が紺地に白の57ネット支部旗を高々と掲げ、参加した69の学会支部の仲間とともに、創立130年を祝いました。

その後12時より、5403号教室で第13回総会を24名の出席により開催。開会のあいさつで、浜田会長より「会のスローガンとして、C&C(コミュニケーション&コラボレーション)を掲げ、他支部との交流、落語会の開催などを行ってきたが、13期はC&Iとして、インクリース(拡大)を図っていき」と話し、支部からの商議員の輩出、2017年に卒業35周年パーティーの開催を打ち出しました。続いて、池田(冬)副会長を議長に選任し、議案の審議入り。1号議案(12期活動報告、収支決算)、2号議案(会則改定、役員・運営委員改選)、3号議案(13期活動計画、予算)、4号議案(関西分会設立)は、すべて全会一致で承認。運営委員改選について、浜田会長より、「清水さんは初の理工学部出身、松本さんは会の草創期の一人であり、復帰戴いた」と

任命ポイントの説明がありました。そして、今回、転任、新任の役員より力強い所信表明がありました。議案終了後、シバ研(内田氏)、イザ研(岡氏)、トリ研(乗兼氏)より、各イベント開催予定報告と勧誘が、年次支部連絡協議会の報告が乗兼氏より行われました。そして、初参加の甘利氏、大島氏の自己紹介に続き、岩崎副会長のあいさつで、予定の1時間を超える熱気あふれる総会は閉会。

場所を食堂4Fに移した懇親会では、近況報告、駅伝予想などで大いに盛り上がり、盛況のうちに名残を残しつつ散会となりました。

(竹林 聡)

谷中～上野街歩きイベント

白門57ネット支部では街歩きイベントを毎年行っており、今回が5回目となります。今回は谷中から上野界隈を歩きました。

4月11日(土)16時にJR日暮里駅に集合しました。参加者は11名です。

最初は根岸のねぎし三平堂を訪問しました(写真左)。ここは「どーもすいません！」のフレーズで人気を博した初代林家三平師匠の記念館です。「落語」を標榜する白門57ネット支部にふさわしい場所です。三平師匠ゆかりの品々はもとより、なつかしいテレビ放送のビデオに見入ってしまいました。

次に谷中霊園を散策しました。まだ桜が残っていました。「あつ、さんのお墓だ」と有名人のお墓



を見つながら歩きました。途中には幸田露伴の小説「五重塔」のモデルになった天王寺五重塔跡もありました。

谷中の街をそぞろ歩きして、SCAI THE BATHHOUSEという銭湯を改装した現代美術のギャラリーを訪れました。外人の方も多数訪れていました。上野公園をとおり、西郷さんの像あたりの桜はまだ花をつけていました。

18時からは上野精養軒3153店でのディナーを楽しみました(写



真右)。こちらは17名の参加でした。今回も会員のご厚意により精養軒の料理をリーズナブルな価格で満喫することができました。どの料理の味もすばらしかったのですが、名物のビーフシチューの味は格別でした。参加者の方々から一言を頂戴しながら、話は弾み、時間の経つのも忘れ、気が付いて廻りを見回すと、残っていたのは我々のグループだけでした。心地いい散策とおいしい料理、楽しい語らいを十分に満喫した半日でした。(池田勝)

江戸落語を楽しむ会

7月26日(日)、駿河台記念館510号室にて、「江戸落語を楽しむ会」が開催されました。

昨年の桂やまと師匠に続いて、今回お招きしたのは春風亭朝也さん、中大落研出身の噺家さんです。現在二つ目ですが、2014年「平成26年度NHK新人落語大賞」の大賞を受賞されています。

参加者は45名で、白門57ネット支部はもとより、白門53会支部からも多数の参加がありました。年次支部協議会のお歴々の方々、出版白門会、白門1984会支部、三九会支部、平成2年支部、中央大学広報室と、多数の支部の方々の参加もいただきました。

会は15時から始まりました。白門57ネット支部の浜田会長の挨拶



のあと、朝也さんが登場し、まずは中央大学に入学し、落研との出会い、噺家になる道を選び、周囲の反対の中、噺家の道を進むことになった話から始められ、つかみから会場は話に引き込まれました。その後小噺を演じていただきましたが、笑いをとりながらも、間の取り方といい、話のレベルの高さには驚くばかりで、知らず知らずの間にすっかり朝也さんの世界に引きずりこまれて、時間の経つのが全く感じられない程でした。

その後、御茶ノ水駅前の「げんない」で懇親会を行いました。こちらにも34名の参加をいただきました。参加者からの一言や、落研の方の小噺、落研の方と朝也さんの丁々発止なやりとりは、腹の底から笑える本当に楽しい一時を過ごさせていただきました。

昨年「落語」というテーマで、白門57ネット支部が活動を続けてきて、各支部との連携も図れ、とても貴重な機会となっていることを感じます。(池田勝)

イザ研

居酒屋研究会ことイザ研。白門57ネット呑兵衛サークルです。全国の美味しい地酒と肴肴を堪能する部会として呑んで楽しむ集いです。イザ研のイザには、居酒屋の頭の音から来ているのですが、イザ、飲みに行こう！との楽しい気合いも混入された集まりとして、今期も前期同様イザ研主催の会を2回行いました。

1回目は2014年12月15日(月)「高田馬場研究所」。この日は皆さん年の瀬の忙しい時期の週初めということもあり、都合のついた3人でしつぽりと、ちょっと値の張る地酒まで手を出してうっとり堪能しました。馬場界限で時間のとれるときは是非お試しあれ。4~5人程度に収まるのでしたら、肴も美味しい日本酒好きにはオススメです。

さて2回目はまだまだ残暑厳しい8月21日(金)。参加者数も当日の温度計のようにどんどん上がってなんと11人！となりました。会場は東銀座「魚々十(とじゅう)」。全国の純米酒50種類以上、その他美味しい業務用のビール、焼酎を取り揃え、たまたまクーポンもあったので時間無制限呑み放題なんと1800円！4時間も滞りして、おひとり様5千円でお釣りがきました。興奮覚めやらぬ私も含めた4名は、お隣の「ぎんます」さんで何と2次会。時間無制限呑み放題にずっと居たらいいのにね。

これからも不定期ですが、楽しい企画を催していきたいと思えます。(岡日出夫)



シバ研

シバ研は、ゴルフを通じて57ネット会員や同期のみなさんが楽しい時を過ごす集いの場です。腕前に関係なくハイキング気分自然を満喫しながら気軽に参加できます。第1回を群馬県の21センチクラブ富岡で行って以来、千葉県や山梨県などで開催し2014年からは春秋年2回の定期開催として参加できる機会も増えました。

2015年は、春季ゴルフコンペを5月14日(日)に、大月カントリークラブ(山梨県)で開催しました。スタートから「ナイスショット！」と

「ファー！」の音がコースに響く中、笑顔の絶えないラウンドになりました。プレー終了後はクラブハウスで親睦会を行い、参加者のみなさんからは、「きょうは1番ホールのドライパーだけが良かったなあ」、「バンカーによく入ったけどしっかり出せた」、「パットが好調だった」など各自が印象に残ったプレーを話題にして大いに盛り上がりました。そして次回のコンペに期待を膨らませながら帰路につきました。ゴルフは年齢、体力、技量に応じて楽しめる生涯スポーツです。これからやってみよう方、以前はやってしたが

最近クラブを握っていない方、家族での参加も大歓迎ですので、白門57ネット「シバ研」で芝刈りを楽しみましょう。

(後山 哲三)



編集後記

白門57ネット通信は浜田会長の発案で昨年度から発行し、今回は第2号となります。

今回も1ページ目タイトル写真を3枚横並びで掲載しました。一番左は竹林さんの記事にあるように、クレセントホール(9号館)でのホームカミングデーの式典。

中央の写真は5403号教室で行われた白門57ネットの第13回総会の様子です。そういえば、こんな教室で授業を受けていましたね。一番右はモノレールの駅からペデストリアンデッキに出たところです。これらの写真は、村松聖子さん(旧姓 矢島)から提供していただきました。

白門57ネットホームページでは本年のホームカミングデー以外にも、最近の活動を紹介していますので、ぜひ一度ご覧になってください。「白門57」で検索すれば、一発でhitします。(三上 彰久)